

■「ハゲタカ(悪徳)」OA 出版社(predatory publisher)にご注意下さい。

近年深刻な問題になっているのが、APC (article-processing charge) 雑誌論文掲載料による収入を目当てに、詐欺的な活動を行う**悪徳 OA 出版社**(predatory publisher = ハゲタカ出版社とも呼ばれる)の増加です。

出版社 Wiley-Japan の「ワイリー・サイエンスカフェ」2015/03/19 に、ハゲタカ(悪徳)OA 出版社の見分け方をわかりやすくまとめた記事が載っていましたので抜粋してご紹介します。査読者への注意を喚起するためのもののようなのですが、投稿される場合も参考になると思います。


<記事紹介>

論文著者が注意したい、悪徳オープンアクセス出版社に引っかけられないためのチェックポイント

ハゲタカ出版社は、警戒心の甘い研究者から投稿を獲得するためにあらゆる手段を講じます。著名な出版社やジャーナルの名前・ロゴマークを真似することもあれば、高名な研究者の名前を無断借用して編集委員としてサイトに載せることもあります。

看護学ジャーナルのエディターが構成する国際団体 INANE (International Academy of Nursing Editors) に属するワーキンググループ Predatory Publishing Practices Collaborative は2014年8月、エディター向けに“Predatory Publishing: What Editors Need to Know” (ハゲタカ出版社についてエディターが知っておくべきこと)と題したガイドラインをまとめました。

- Kearney, M. H. and The INANE Predatory Publishing Practices Collaborative (2015), [Predatory Publishing: What Authors Need to Know](#). Res. Nurs. Health, 38: 1-3. doi:

10.1002/nur.21640  FREE (2015年12月末まで無料公開)

ガイドラインでは、悪徳 OA 出版社を見抜くためのチェックポイントが簡潔にまとめられています。

1. ジャーナルのコンテンツに責任をもつエディターは誰か

専門分野内でどのような地位にあるのか、直接コンタクトするための情報が提供されているか。

2. コンテンツの質を保証するためのプロセスはどのようになっているか

査読プロセスが明示されているか、編集顧問・査読委員会などのメンバーの名前と役割が示されているか。

3. ジャーナルが健全に運営されているか

論文出版料金についての情報が明記されているか、インパクトファクターが確認できるかなど。

以上、悪徳オープンアクセス出版社についての留意点をご紹介いたしました。

また、参考のために、「Nature 電子版」に発表された Jeffrey Beall 氏の論文と「List of Predatory Publishers 2014」もご紹介しておきます。

- [Nature](#). 2012 Sep 13;489(7415):179. doi: 10.1038/489179a.

Predatory publishers are corrupting open access.

Beall J¹.

<http://www.nature.com/news/predatory-publishers-are-corrupting-open-access-1.11385>

- List of Predatory Publishers 2014

By Jeffrey Beall

<http://scholarlyoa.com/2014/01/02/list-of-predatory-publishers-2014/>